

NPO 法人三木自然愛好研究会

1月のふるさと公園

三愛だより

第 225 号 2023 年(令和 5 年)1 月 11 日 発行

発行事務局 : 三木市細川町増田 1204 番地

電 話 : 0794-82-3095 (北村) <http://mikisizen.g1.xrea.com>

雪景色の守池 1 号



新年のごあいさつ

理事長 北村 健

新年あけましておめでとうございます。今年は穏やかな天候に恵まれ、久々に親戚や知人等とお正月を楽しまれた方も多いのではないのでしょうか。

さて、旧年中は三愛研の活動も、長引くコロナウイルス感染症蔓延で「ふるさと公園里山まつり」を3年続けて開催を断念するなどの制約を受けましたが、「公開観察会」や「貴重種保全活動」、「三木市史編さんのための生物調査」などは多くの会員の皆様方のご助力によりましてほぼ計画通りに実施することができました。ありがとうございました。

昨年末に皆様にお届けした「増田ふるさと公園」の卓上カレンダー制作において、三愛研の活動に共感していただける多くの皆様がおられることを実感させていただきました。また、7月24日の志染町高男寺のシジミヘラオモダカ現地説明会や7月30日の口吉川町東のゆるべ谷池のナガエミクリの保全についての地元自治会役員への説明会、11月19日には三津田地区の区長や市議会議員に旧教育キャンプ場跡の「虫のお宿」の被害状況の確認をいただき、それぞれ前向きな対応を得ることが出来ました。三愛研の活動において、それぞれの地域の理解と協力は欠かせないので、その他の地域においても積極的に情報共有して協力関係の構築に努めていきたいと思っております。また、地域の学校などとも協力関係が構築できるように努めたいと思っております。

ところで、市内の各地域に会員の方がおられることが生物調査や保護活動その他、三愛研の活動を進めていく上で大きな助けになっています。会費の負担をお願いすることにはなるのですが、できるだけ会員を継続していただきますようお願いいたします。三愛研の活動は皆様の会費によって支えられています。

これからも役員一丸となって事業の運営にあたってまいりますので、本年もご助力のほどをよろしくお願いいたします。

最後に、この1年が穏やかな年であることを願うとともに会員の皆様方のご多幸をお祈り申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

お知らせ

2/10(金) 救急処置講習会にご参加ください!

昨年の「川がき教室」にて、参加者がハチに刺されたという事故がありました。手際よく処置したため大事には至りませんでした。野外での活動が中心である本会は常に水難、怪我、毒蛇、虫刺され等の危険要素が周辺に存在しています。

この度の事故を受けて活動推進連絡会で検討した結果、消防署に依頼して救急処置の講習会を行うことになりました。

2月10日(金)、午後2時より市民活動センター分館3F中講座室で実施します(約1時間程度)。

出来るだけ多くの会員の方々に参加して頂き、咄嗟の場合の応急処置を習得して頂きたくご案内致します。

2022年12月～2023年1月上旬の事業報告

12月4日(日) ふるさと公園公開観察会(ササユリ復活作戦) 10:00～
会員13、一般2、合計15名

12月8日(木) 三愛だより発送作業 市民活動センター 15:00～

12月18日(日) ふるさと公園全面草刈り 一般4、会員17、合計21名
午後) 虫のお宿復旧作業 一般8、会員12、合計22名

12月27日(火) 巨木調査 三木城址、大宮八幡神社他、会員3名

12月29日(木) 三役会議

2023年(令和5年)

1月5日(木) 活動推進連絡会 19:00

1月7日(土) 巨木調査 旧小河邸、法光寺他、会員4名



巨木調査

右: 旧細川中学校跡のメタセコイア
(胴周3.35m、樹高40m)
左: 三木山総合公園のサイカチ
(胴周4.50m、幹の中が空洞、
周りの一部が生き残る)

報告

虫のお宿復旧作業 (2022/12/18・12/30)

前回の「虫の冬越し探検隊」参加者に呼びかけたところ、12/18には親子8名が作業に参加してくださった。三愛研会員12名と一緒に、壊滅状態の「虫のお宿」を復旧していった。もしかしたら、幼虫が何匹か生き残っているのではないかと、荒らされたお宿の土を慎重に掘っていく。黒い土の中に、

白い物が見えたとなん、「おっ！」と歓声があがった。1匹目が見つかる、その後2匹目、3匹目とポツポツと見付き、全部で7匹の生き残りを確認した。参加した親子が、生き残っていた幼虫を優しく見つめる姿が見られ、みんなで復旧作業をして良かったとつくづく感じられた。

外枠を太い杭と金網で補強した後、参加者全員で枯葉を集め、1時間程の作業で元の状態に近いお宿に戻すことができた。



大晦日を翌日にひかえた12/30には、復旧した「虫のお宿」に注意書きを掲示した。また、旧キャンプ場入り口には、御坂の駐在さんと相談の上、三木警察署名で立ち入りに関する注意書きを設置した。



これは「虫のお宿」です
2023.3.4(土)実施の本会事業
「虫の冬越し探検隊」で、
冬越し中の虫の様子を観察しようと
子どもたちが楽しみにしています。
静かに見まもってください。
2022(令和4)年12月25日
NPO法人三木自然愛好研究会(虫の冬越し探検隊2021)
連絡先 0794-82-3095(北村)



これで、対イノシシ或いは対人間から「虫のお宿」を守る一応の対策は完了した。二度とお宿が荒らされることが無いよう、今後も駐在さんや地域の方の見守りが続く。

三愛研会員も、時々現地に足を運び、お宿の状態を確認することが必要であろうと考える。

復旧作業に関わってくださった多くの皆さんに、心から感謝いたします。ありがとうございました。

(文責: 植田)

ふるさと公園だより

ちょっと立ち寄って
覗いてみませんか！
今、このような生きものが...

1月のふるさと公園は
静まりかえっています。
しかし、様々な生きものが
様々な形で冬を越そ
うとしています。



リョウブの芽



ヤマムガガの水



アケビノハの成虫
(枯葉に擬態して越冬)



セトウチサンショウ
ウオ(成体と卵塊)

生きもの それぞれの冬越し



クビキリギスの成虫
(枯葉の中で越冬)



ベニシジミの幼虫
(スイバと保護色)



ミドリシジミの卵
(ハンノキに産卵)



キタキチョウの成虫
(枯葉の中で越冬)

おことわり

長い間、このコーナーを担当してもらった塩田
会員が諸事情によりしばらくお休みします。
その間に蓄積された生物写真を有効に使用させ
ていただき、引き続いて公園だよりを趣向を変え
て出していきます。

報告

12/18 ふるさと公園全面草刈り

集合時間よりもかなり早く行ったつもりが、公園
では既に数名の会員が来られ、焚き火の煙が舞い上がっ
ていた。この日の朝は霜が降り、ため池や溝には薄氷が
張ってかなり冷え込んでいた。

昨年あたりから、会員に加えて一般の方も参加して草
刈り作業を行なうようになった。この度も公園によく写
真を撮りに来られる方が2名、公園観察会などによく
参加される親子と合わせて4名の方が来られた。徐々
にはあるが、ふるさと公園の認知度も上がり環境保全
活動への理解と協力が得られていることに気持ちを良
くして作業にかかった。

午後から別の作業(「虫のお宿」復旧作業)があるの
で、午前中には終了しなければならぬため最後まで作
業が完了するか心配であったが、何とか全て刈ることが
出来て安堵した。草刈機では刈り取れないフェンス際の
草も鎌で綺麗に刈りあげてスッキリした。

作業は12時半に終了し、伊豆原会員らが作ってくれ
た豚汁を頂き小腹を満たして解散する。今年も多くの
参加を得て実施することが出来た。

皆さん大変お疲れさまで
した。ご協力ありがとうございました。(文責：横山)



会員情報

古道・太閤道の整備に...

昨年8月、神戸新聞に連載された「古道
を歩く」は続きがありました。12月23日付の新聞
に掲載された記事を紹介します。

平井山の秀吉本陣跡から志染町安福田の里に抜
ける「太閤道」と呼ばれる古道を、会員の室谷・渡
瀬両氏が探して整備した内容の記事です。なお、写
真の後ろ姿は戸田会員です。清地会員も同行してい
ます(文責：横山)

戦国期の三木合戦で羽柴秀吉が本陣の付
城(平井山)から志染町安福田の集落に通
ったと推測される道を、地元の郷土史家が
ハイキングコースとして整備した。伝承で

三木合戦で本陣から集落に通ったと推測



郷土史家が切り開いた古道の入り口三木市平井



付城は1575年、三木
市平井、与呂木、志染町安
福田にまたがる平井山に築
かれ、平井山と付城跡
秀吉本陣跡として国史
跡に指定される。市が本陣
内をウオ、キングコースと
して整備し、尾根上の道は
秀吉ゆかりの道として「太
閤道」と呼ばれている。
拓したのは郷土調査会。一
つの道は距離約400
の案内板(さん79)と渡瀬
達夫さん(70)いずれも同
20日に約10人がハイキン
グし、石碑の文字を目を凝
らしたり、眺望を楽しんだ
りしていた。室谷さんは里
山はかつて、古道に隣接す
る歴史を感じてほしい」と
話している。

秀吉ゆかりの古道整備

郷土史家2人がルート開拓

市柳町高橋。言い伝えや
明治大正期の地図を基に
今年8月から道を探索し
た。山中はシダで覆われ、
やぶに分入って確認。踏
みしめた感覚でかつての道
かどうかの判断を重ねた。
スマートフォンで位置情報
も活用し、草木を削って再
び道を切り開いた。

三愛研 2023年1月中旬～2月 事業活動予定表

日	曜	1月 行事 他	日	曜	2月 行事 他
13	金		5	日	冬の公園観察会 会員9:00集合
14	土		6	月	
15	日		7	火	
16	月		8	水	
17	火		9	木	
18	水		10	金	救急処置講習会 市民活動センター14:00
19	木		11	土	シジミオモダカ自生地草刈り 9:00集合
20	金		12	日	(2/11の予備日)
21	土		13	月	
22	日		14	火	
23	月	15	水		
24	火	16	木		
25	水	17	金		
26	木	18	土		
27	金	19	日		
28	土	20	月		
29	日	21	火		
30	月	22	水		
31	火	23	木		
2月		24	金		
1	水	25	土	旧教育キャンプ場跡現地草刈り 9:00集合	
2	木	26	日	(2/25の予備日)	
3	金	27	月		
4	土	28	火		

午後は擬木(コープこうべ助成金で購入)でメダカの逃げ場作りを行います。かなりの人手を必要としますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。なお、午後の作業にも協力願える方には昼食(弁当)を用意します。

ご協力をお願いします
草刈り機等の用具は用意します。

重ねてのお願い!

機関誌「おもだか」 原稿締切日(3/5) 迫る!

まだ2名の方の原稿しか届いていないので、少し焦っています。

皆様の積極的なご寄稿をお願い致します。
なお、寄稿して頂ける方で原稿の提出が遅くなる場合、編集する都合上、お名前だけでも連絡して頂ければ幸いです。

「おもだか」編集委員 池田裕子
Eメール: 8728hiroko@gmail.com

重ねてのお願い!

乞う 年会員納入!

毎月のように催促して恐縮ですが、年会費未納の方がまだ13名(1月6日現在)いらっしゃいます。

今年度の決算時が近づいております。お忘れの方は、出来るだけ早く納入して頂きますようお願い致します。

なお、該当される方には督促状を同封させて頂いております。

なお、年度末まで毎三愛だより発送時に、未納者の方には督促状をお送りしますので何卒ご了承ください。(会計:横山)